

早稲田大学 政治経済学部 世界史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	2017年の記述問題23題・記号問題28題・40字論述1題・160字論述1題から今年は記述問題31題・記号問題30題・140字論述1題となり、40字の短論述問題が消滅した。もともと欧米・西洋史が過半を占めていたが、今年は大問5題のうち4題が西洋史1題が登用して西方偏重となった。時代的には例年と同じく近現代史の比率が高かった。難易度は全体として前年並み。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	アジアの4つの都市	都市①は五代の諸王朝の中にここに都をおいたものがあるという記述から洛陽と判断する。朱全忠は昨年の大問Iでも登場していた。A 1:イの卑弥呼の使者が来訪したのは三国魏の都洛陽なのでこれを選ぶ。ロは北魏の都平城(山西省大同)、ハは隋の都大興城。ニは唐の都長安である。2:朱全忠からニの「黄巢」を選ぶ。都市②は杭州(南宋の都としては臨安)。ロの「平氏政権との貿易」は日本史に暗いと違和感があるだろうが消去法でも対処できる。イの「湖広～」は明代、ハのマルコ＝ポーロは元代、ニの鄭和は明代である。4:東シナ海か南シナ海か迷うかもしれないが正解は南シナ海。中国では古くから東シナ海を東海、南シナ海を南海と呼んできた。日本は東海に浮かぶ島であり、東南アジア方面との貿易は南海貿易である。日本船が出入りする港は東海に向いていると思えばよい。都市③はインドのアグラ。5はアクバルについての問なので、イのジズヤ廃止を選ぶ。6はシャー＝ジャハーンなのでハのタージ＝マハルを選ぶ。写真でインド関係はロのクトゥブ＝ミナール。デリー郊外にあり奴隷王朝を建国したアイバクがたてた。都市④はバグダード。7:バグダードに近い都市としてササン朝の都クテシフォンを選ぶ。ティグリス川流域ということではアッシリアの都ニネヴェも該当するがバグダードからは離れている。8:イ-フラグはカリフを虐殺してアッバース朝をほろぼしているので誤り。ロのプラノ＝カルピニはモンゴル高原のカラコルムを訪れてグユクハンに謁見しているのが誤り。ニも明らかな誤り。正解ハの「アイン＝ジャールートの戦い(1260)」は教科書レベルではないが、モンゴルからエジプトを守った重要な戦い。この勝利でマムルーク朝の威信は高まり、カイロはバグダードに代わるイスラーム世界の新たな中心となった。Bの空欄補充は易しい。	標準
II	奴隷制をめぐる歴史	史料問題の体裁をとっているが解答に史料文の読み込みは求められない。A 1:「史料1の時点で」とあるが史料文のなかに1526年と年代が出ているので時代を考える必要はない。ブラジルはトルデシリャス条約(1494)で領有、ゴアは1510年、マラッカはその翌年の1511年。マカオはポルトガル船来航(1517)・居住権獲得(1557)・領有は19世紀末の1887年である。2:英の植民地とプランテーション・鉱山の組み合わせ。ロのインドネシアと綿花は不適として、残りの3つは難しい。イ-マレー連合州とセットの「アバカ」とはマニラ麻のこと。その名の通りフィリピンの特産品である。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
II		<p>ジャマイカとフィジーが残るが正解はフィジー。ジャマイカの産物は銀ではなく砂糖。フィジーはニュージーランドの北に位置するメラネシアの島。19世紀(1874)に英領となると大規模な砂糖プランテーションが展開され大量のインド人が労働者として移入された。3:ハ「ウラービー運動」はエジプトの民族運動。4:ハ「ストウ」は『アंकル＝トムの小屋』の作者。5:日本人契約労働者も難しい。ハワイとブラジルは除外でき、ケニアを選びたいがニューカレドニアが引っかかってしまう。このニューカレドニアにはニッケル鉱山がありその労働者として日本人が渡っている。6:史料3の会議とは「アフリカ分割に関するベルリン会議」(1885)。ロは「コンゴ自由国の解体」が誤り。解体ではなく建国が正しい。この会議で英はニジェール川河口地域を獲得した。よってニが正解。7:ロのキング牧師は「私には夢がある」の一節から即答できる。B1「奴隷」は文脈からすぐわかる。2の「非政府組織」は一般教養。3:「公民権運動」は頻出事項。4:「人身売買」も一般教養を問う問題。</p>	
III	ローマ帝国関係史	<p>A 1:「内乱の1世紀」に関する問。イーグラックス兄弟が護民官となったのは兄(前133)・弟(前123)。ポエニ戦争(前264～241/前218～201/前149～146)の後である。2:トラヤヌス帝が新たに領土にくわえた地域とは「ダキア」(現在のルーマニア)である。歴史地図では必ず強調してある。3:マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝についての問。ロはハドリアヌス帝の事績。4:ハ「景教」が誤り。ゾロアスター教は「祆教」。5:ディオクレティアヌス帝について。ハ:「コロヌスの移動を禁じる法令」はコロヌス土地緊縛令(332)でコンスタンティヌス帝の事績。6:ニーランゴバルド族が建国したのは北イタリア。7:ニーサン＝ヴィターレ聖堂はヴェローナではなくラヴェンナにある。B 1:タキトゥスの著作『アグリコラ』は用語集の説明文で触れてはいるが目立たない存在。タキトゥスといえば『ゲルマニア』しか連想できないのが大半の受験生。2:「全自由民」。212年の勅令とはアントニヌス勅令。3:ササン朝の捕虜となった軍人皇帝ウァレリアヌスは頻出事項。逆に言えば、軍人皇帝でその名を問われるのはこの皇帝のみ。4:ノミスマ。ソリドゥス金貨のビザンツ時代の呼称。5:エウセビオス。神龍帝理念でも知られる。6:単性論。イエスに神性のみを認める。代表的なのはエジプトやエチオピアに分布するコプト教会。7:ムラト1世(位1362頃～1389)は細かい。アドリアノーブルを攻略してブルサから都を移したほか、コソボの戦い(1389)でセルビア・バルカン連合軍を破った。人名よりもコソボの戦いの方が有名。</p>	やや難
IV	17世紀後半から19世紀のイギリス	<p>昨年の大問IVのテーマ「18世紀末から19世紀の欧州」とほぼ同分野からの出題。Aは年表完成問題。①「権利の請願」(1628)が先頭とわかれば②と④の前後を問う二択。②「クロムウェルの独裁は護国卿就任(1653)、対して④の共和政樹立は1649年。年号に頼らずとも歴史的文脈をおさえれば解答できる。2:大ブリテン王国成立は1707年でアン女王の時代。ハはスペイン継承戦争(1701～13(14))。英の北米植民地ではアン女王戦争といったことから即決。</p>	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
IV		3:空欄 e に「重農」がはいることはすぐわかる。4: f が「リカード」、i は「リスト」。B の 1～3 は簡単。4: ノルウェー。ウィーン体制下でスウェーデンとの同君連合を形成していた。5・6: 自由党=グラッドストーン/保守党=ディズレーリは基礎事項。7: アイルランド。特に問題はない。	
V	戦後のヨーロッパ	<p> 去年は「戦間期のヨーロッパ」。A 1: ロのユーゴスラヴィアが除名されたのは COMECON ではなくコミンフォルム。2: 正解はロ。イのマーシャルプラン受入れのための機関はヨーロッパ経済協力機構(OEEC)。ハード=ゴールのもとで大統領の権限は「強化」された。ニ-1954年パリ協定云々はキリスト教民主同盟のアデナウアー政権。3: イ-キューバ危機(1962)当時のソ連のトップはフルシチョフ。ロ-フルシチョフのスターリン批判は1956年2月のソ連共産党第20回大会。1953年のあとである。ハ-ゴムウカは1956年6月の危機を自主解決しその後70年まで第一書記の座についていた。4: ①チェコの「ビロード革命」(1989年11月)が先頭と決まれば②と③の前後を判断する二択。③のマルタ宣言(1989年12月)→②東西ドイツ統一(1990年10月)とならぶ。B 1のフランスとイギリス、2の石炭鉄鋼共同体と原子力共同体は易しい。3: 拡大ECは1973年のイギリス・デンマーク・アイルランド、ついで1980年のギリシア・スペイン・ポルトガルが重要。ギリシアは2009年に財政危機が表面化しユーロ危機を誘発したことも忘れてはならない。4: 140字の論述。去年は「宥和政策」でチェコスロヴァキアがポイントになっていた。チェコスロヴァキアは2年連続での登場となった。正直、要点を述べるだけなら140字は多すぎる。そこで字数に見合った内容にするため「チェコスロヴァキアの改革」の内容、それをソ連指導部がどのようにとらえ(「反革命」)、どのような対応(「ワルシャワ条約機構軍による軍事介入」「ソ連型社会主義のおしつけ)をとったか、そして介入正当化の理論である制限主権論を説明する。 </p>	やや難

[総合コメント]

定着した感があつた160字論述は140字と字数が減少し、40字の論述は消滅した。このまま継承されるかどうかは何とも言えない。対策としては160字と140字で違いはないし、140字対策をとっていれば40字が復活してもあわてる必要はない。頻出分野の現代史を中心に国際問題をコンパクトにまとめる練習を繰り返しておきたい。年代配列問題については、事実関係の展開を丁寧に理解しておけば、たとえひとつふたつの年代を思い出せなくてもなんとか配列は可能である。また、一番早い年代か遅い年代を特定できれば四択を二択にできる場合がほとんどである。地図問題は5年続いて出題されなかった。毎年難問が見られる正誤判定問題ではとくに現代史の細かい点が狙われやすい。正誤判定は慣れがものをいう。早大他学部過去の問も含めて数をこなしておくべきである。意地の悪い正誤判定問題はとにかく疲れるものである。過去問演習を通じ、慣れで疲れを克服していければ思わぬ失敗も未然に防げる。去年の戦争賠償、今年の奴隷制や人身売買など、現代世界のかかえる様々な問題にも注意を払っておきたい。